

頭陀袋 (8)

発行 中山かんのん

恩林寺

中山中学下、電話三四一―二四五

ひとりぼっち

『一人ぼっちが好きだよと、、、。』なんていう、流行歌の歌詞がありますが、本当に一人ぼっちが好きの人が居るのでしょうか？一人ぼっち（ひとりぼっち）とは独り法師のことで今日では（肉親や仲間が居なくて孤独である）ことを指します。それからさらに恋人と別れた後の淋しい感情を表すのにも使われるようになってきたといえるでしょう。本来の（独り法師）とはサンガ（仲間）を離れて世の中を救って歩く法師を指しました。法師とは法を説き善行を修め世の模範となつて人を導く僧侶のことですね。本来の独り法師は積極的にひとりとなるのですが、成り行きで独り法師となつたら淋しいでしょう。この淋しさが強調されて一般に身寄りのない人、仲間のない人を「独りぼっち」とあらわすことになったと理解されます。人はただ一人では生きられません。今は高齢化社会、少子化社会を迎え独りで暮らさざるを得ない人が多くなってきました。子供のない夫婦、配偶者に先立たれたり、結婚しないまま年齢を重ねた子供が、両親をなくしたりすると、その段階から一人ぼっちになってしまますね。独りで暮らしていると万一病氣

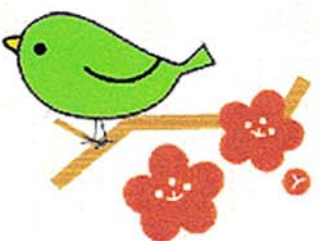
おてら

出に行こう。

おしようさんと

ともだち

友達になろう。



になつても診てくれる家族が居ません。死んでも発見されないなど大変なことになつていたという例がたくさんあります。これから先は社会福祉の充実が急務でしょう。一人ぼっち世帯が増加するのを防がなくてはいくらか社会福祉を進めても実状を改善することができません。結婚して子供という子孫を残し、一方、親という先祖の世話をするという日本古来の美しい親子関係をぜひ見直してほしいものです。夫婦の絆、親子の絆を大切にしておいて家庭を成り立たせることが本当の一人ぼっちを避ける基本ではないでしょうか？

涅槃会、春の彼岸永代祠堂総回向（永代経）
例年のとおり左記により法要を予定しております。
万障繰り合わせの上おまいりくださいますようご案内いたします。

記

日時 三月十七日（土曜日）午前十一時

会場

恩林寺 本堂

法話の後、懇親会を準備いたしております。ご参加いただける方は三月十日ころまでにお寺へ電話ください（34・1245です）